

会 議 録

1 会議名

令和4年度第3回大島区地域協議会

2 議題（公開）

1 報 告

(1) 中山間地域農業の維持・振興に向けたワークショップの開催状況と今後の展開について

2 協 議

(1) 視察研修について

3 その他

(1) 第4回地域協議会の開催日について

3 開催日時

令和4年6月28日（火）午後2時から3時まで

4 開催場所

大島就業改善センター3階 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：飯田多津子、内山信、内山元栄、武江一義、武田昌午、中村朝彦、丸田新一、丸田松男、山岸久雄、吉野健治
- ・ 大島区総合事務所：岩野次長、武田市民生活・福祉グループ兼教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ 高橋班長、佐藤主任
- ・ 浦川原区総合事務所：竹田次長、山本産業グループ長、長井主任

8 発言の内容

【丸田会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 挨拶

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・本日の会議録の確認は、委員番号11番の山岸久雄委員にお願いします。
- ・報告事項（1）中山間地域農業の維持・振興に向けたワークショップの開催状況と今後の展開について、事務局に説明を求める。

【竹田次長】

- ・市の農業施策においては、高齢化や過疎化の進展に加えて、担い手不足や生産条件不利など中山間地域特有の課題を抱える中で、中山間地域農業の維持に向けて、ありたい姿、将来の方向性を皆で共有することを目的として、昨年度から市内7つの地域自治区で、幅広い世代の農業者の方からご参加いただき、ワークショップ形式による話し合いをしている。
- ・地域の主な産業である農業に関することであるので、本日は、情報提供として昨年度のワークショップの開催状況と今後の展開について、報告させていただく。
- ・産業グループの山本グループ長から説明させていただく。

【山本グループ長】

- ・資料No.1に沿って説明。

【丸田会長】

- ・報告事項（1）について、質疑を求める。

【山岸委員】

- ・資料13頁の「土地利用・農地条件」における「今取り組めるもの」の欄に「年貢をなくす」という記載がある。これは、参加した農業者の意見だと思うが、農地の出し手の考えは、この中に反映されているのか。

【山本グループ長】

- ・参加した農業者が自由に考えを付箋に記入し、「土地利用・農地条件」について、大島区においてどのような対策が必要か、どのような工夫をしていけばよいかという中で、このような意見が出た。
- ・農地の出し手、受け手という考え方ではなく、農業者が出した意見の一つということである。

【丸田会長】

- ・他に質疑を求めるもなし。

(竹田次長、山本グループ長、長井主任 退出)

- ・協議事項（１）視察研修について、事務局に説明を求める。

【岩野次長】

- ・今まで視察研修について、実施の有無や視察先から協議していた。直近２年間においては、新型コロナウイルス感染症拡大のため研修を実施していない。まずは研修の目的について、皆さんの方向性を一緒にした中で進めていきたい。
- ・研修の目的について、様々な事例などを見たり、聞いたりすることで、知識や視点が広がる。その他の地域の取組や専門的な視点を持った人の話を聞くことにより、いままで感じてきた地域の現状を再認識するきっかけになる。委員の皆さんの知識や視点をより一層広げることが目的として、今後の大島区の地域づくりを進めるうえでも、研修は大事なことである。また、知識や視点の広がり、自主的審議事項の深掘りや委員同士の議論につながっていく。そのことを考えながら、今回どうするか、協議していただきたい。
- ・まずは、地域の課題や自主的審議事項につながる案件探しではなく、地域協議会委員として、必要な視点や知りたいこと、また、把握しておきたい情報などを目的として、今年度の研修会の方向性を考えていただきたい。会長、副会長とも相談した中での事務局からの提案である。

【丸田会長】

- ・今ほど事務局から説明があった。表題は視察研修であるが、研修の形式は視察だけでなく、参考資料に記載のとおり講演会もある。まずは、地域協議会委員の研修として、大島区の現状を見据えた中で、また、委員活動を行う上で、委員の皆さんが知りたいこと、必要と思われる視点などを伺い、どのような研修が必要なのか整理したいので、皆さんから意見を伺いたい。なお、研修の形式については、皆さんの意見を伺ったうえで、後日協議する。

【岩野次長】

- ・配付した資料に大島区や大島区以外の視察先の一覧や講演会の一覧を記載しているので、参考にしていきたい。

【丸田会長】

- ・全員の意見を聞きたい。吉野委員から意見を伺う。

【吉野委員】

- ・講演会で話を聞いても、あまり印象に残っていないので、やはり現地視察をしたい。
- ・この地域に住んでいる限り、過疎は常に考え続けていかなければならないテーマであると思う。過疎と関連した取組で移住の受け入れがある。移住を必要とするならば、自分が住んでいるこの地域をより住みやすい生活環境に改善していかなければならないと考えている。
- ・一つ候補として挙げると、マスコミで報道されている柏崎市高柳町の荻ノ島集落である。
この集落への移住は盛んであり、移住者もそれぞれ移住元の職業での経験を活かして地域の発展に寄与している。
- ・十日町市に移住して地域に溶け込みながら、また、新たな視点で地域を見直しながら農業に取り組んでおり、大島中学校でも講演したことがある佐藤さんという人がいる。実際に農業生産活動を行っている集落へ行き、地域の中で今までの経験を活かした取組について話を聞きたい。

【山岸委員】

- ・視察は行って見てきましたというだけでは意味がない。行ったからには何か掴んでこなければならぬと思う。
- ・私は歳を取ってからも何かできる仕事はないかと思っており、高齢者が頑張っているところを若い人に見てもらいたいと思っている。
- ・先日、加茂市でしいたけ栽培やなめこ栽培、その他に原木からマイタケを栽培している七谷地区を視察した。山一面で、マイタケを栽培しており、そこを視察して、私達も取り組めるのではないかと思った。そのような場所がよいと思う。
- ・移住の話があったが、私が住んでいる集落は、大いに移住を受け入れて地域を盛り上げてもらいたいという意見の住民と移住しても移住者が集落を出た後の始末をしてもらわないといけないという意見の住民がいる。私は後者の意見である。

【丸田（松）委員】

- ・私は、具体的な視察場所についての意見はないが、地域おこし協力隊のいる集落を視察して、協力隊の取組等について話を聞きたい。

【中村委員】

- ・視察では、できれば成果や具体的な目標をあまり考えないで、楽しい所へ行くこと

が一番よいと思う。

- ・大島区の地域協議会で視察研修が始まった時に、ひまわりを見に行こうということで視察した。行ったら大島区とは違っていた。その「違い」がその後の地域協議会の議論の中でとても参考になった。
- ・視察の結果が自主的審議事項につながったことはなかったが、菖蒲地区に地域おこし協力隊を入れる際の参考になり、また、大島地区で実施している「あぜ道ほたる」の参考になった。また、柏崎市高柳町でシャッターアートを見て、保倉地区で実施したりするなど、視察する前には具体的な目的を設定していなかった。具体的にどこというのはないが、あまり形式にこだわらずに楽しそうな所に行ければよい。

【武江委員】

- ・視察も大事であるが、年1回、著名人を呼んで自分の体験談を話してもらいたいと思う。個人的には、昨年マスターズで優勝したゴルフの松山選手の話が聞きたい。

【武田副会長】

- ・山岸委員と似たような意見であるが、昨年、大島地区で魚沼市の守門地区を視察した。そこでは、各農家がいろいろな農産物等を持ち寄って販売していた。その中でも1個約1,000円で販売されていたあかもんかぼちゃが、高齢者でも作れるとのことであり、非常に興味深かった。高齢者がそのような作物を探して栽培し、青空市場で販売するのもよいと思った。そのような視察先もよい。

【飯田（多）委員】

- ・私は委員になり、視察研修に行ったことがないので、今回は視察研修が良いと思う。具体的な場所や内容は、今すぐには出てこないなので、皆さんの意見を協議して決めればよいと思う。

【内山（信）委員】

- ・目的を決めて視察すべきであると思うが、どこに行くかという話になってくる。大島区の皆さんのためにならなければならないと思う。具体的な視察先は出てこないなので、皆さんの考えに従う。

【内山（元）委員】

- ・昨年と同じ意見になるが、地域活動支援事業を実施した場所を視察すればよいと思う。これからの地域の活性化のため話をしながら薬師山道を登り、現地を把握し、事業に賛同できるような視察になればよい。

- ・もう一つは、コロナ禍で交流ができずに委員の視野が狭くなっていたと思う。安塚区、浦川原区、大島区の地域協議会委員で意見交換をして、その後に懇親会をすればよいと思っている。

【丸田会長】

- ・これで私以外の皆さんの意見がそろった。視察研修の実施は多くの委員が賛成している。
- ・私は中村委員に近い意見である。委員全員で視察に行きたい。
- ・場所は、柏崎市高柳町、十日町市、地域おこし協力隊が活躍しているところや高齢者が活躍しているところなどが挙げられたので、近場で設定し、視察先に行って自分が知らない情報や知識を取得してもらえればよいと思う。
- ・視察先は柏崎市高柳町、十日町市方面として、案を出したいがそれでよいか。
(「はい」の声)

【岩野次長】

- ・視察先は隣接する近い場所、柏崎市高柳町や十日町市という話であった。中村委員から成果を求めず楽しむという意見があったが、それが後々地域づくりのきっかけになる視点から、目的は地域づくりのきっかけが挙げられる。
- ・それ以外にも協力隊やそれに関わる人たちなどから何かヒントを得ると思う。もう少し、目的を明確にしていきたい。

【丸田会長】

- ・視察研修後にレポートを提出するという事で成果を出すというのはどうか。

【丸田（松）委員】

- ・正副会長及び事務局に一任するので、方向性を決めてもらいたい。

【中村委員】

- ・講演会という話もあったが、無償で講演してくれる講師がいなかったため、今まで講演会という話があっても実現できなかった。交通費にほんの少しの謝礼しか出せないというのが今までの話であるが、今年はお出せるのか。

【岩野次長】

- ・地域協議会の予算は決められている。この講師の話を知りたいという要望があれば、木田担当課と調整をさせていただくが、高額な報酬というわけにはいかない。
- ・丸田（松）委員から正副会長及び事務局に一任するという話をいただいた。

皆さんの意見から、近い場所で楽しい視察を心掛けながらも行って見てきまただけではなく、次につなげるという視点を持ちながら、地域づくりのきっかけとなる活動を行っている組織を視察するという方向で検討していくということでしょうか。

【丸田会長】

- ・それでよい。
- ・今回、皆さんから出た意見を集約し、正副会長と事務局で協議して、次回の地域協議会で案を皆さんに提示させていただくということでしょうか。

（「はい」の声）

- ・その他（１）第４回地域協議会の開催日について、７月２７日（水）午後２時から大島就業改善センターで開催することとしてよいでしょうか。

（「はい」の声）

- ・他に発言を求めるものなし。
- ・それでは、以上をもって第３回地域協議会を閉会する。

9 問合せ先

大島区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-594-3101（内線 61）

E-mail：oshima-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。